

算数 評価規準 1年		単元名	単元の目標	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
4月	なかよしあつまれ(5) いくつかな(8)		○10までの数及び0について理解し、ものの個数を正しく数えることができるとともに、数の大きさを具体物や図などを用いて考え表現する力を身につける。また、数に親しみ、算数で学んだことのよさや楽しさを感じながら学ぶ態度を養う。【学習指導要領との関連 A(1)ア(イ)(ウ)】	・10までの数及び0の意味や、数え方、よみ方、書き方、数の大きさや順序について理解し、数を数えたり比べたりすることができる。<知・技>	・数を用いる具体的な場面に着目し、数の大きさや順序を具体物や図などを用いて考えている。<思・判・表>	・数に親しみ、算数で学んだことのよさや楽しさを感じながら学ぼうとしている。<態度>
	たしかめもんだい① 2. なんぼんめ		○集合数と順序数について理解し、個数や順番及びものの位置を正しく数えたり表したりすることができるとともに、集合数と順序数の違いを具体物や図などを用いて考え表現する力を身につける。また、数に親しみ、算数で学んだことのよさや楽しさを感じながら学ぶ態度を養う。【学習指導要領との関連 A(1)ア(イ)(ウ)、B(1)ア(ウ)】	・個数や順番を正しく数えたり表したりすることができる。また、前後、左右、上下など方向や位置についての言葉を用いて、ものの位置を表すことができる。<知・技>	・集合数と順序数を用いる具体的な場面に着目し、それらの違いを具体物や図などを用いて考えている。<思・判・表>	・数に親しみ、算数で学んだことのよさや楽しさを感じながら学ぼうとしている。<態度>
5月	3. いまなんじ(1)		○時刻についての理解の基礎となる経験を重ね、日常生活の中で「何時」「何時半」のような時刻をよむことができるとともに、時刻と日常生活を関連づける力を身につける。また、時刻に親しみ、算数で学んだことのよさや楽しさを感じながら学ぶ態度を養う。【学習指導要領との関連 C(2)ア(ア)、C(2)イ(ア)】	・日常生活の中で時刻をよむことができる。<知・技>	・時刻のよみ方を用いて、時刻と日常生活を関連づけている。<思・判・表>	・時刻に親しみ、算数で学んだことのよさや楽しさを感じながら学ぼうとしている。<態度>
	たしかめもんだい②					
6月	4. いくつといくつ(7)		○10までの数について、1つの数をほかの数の和や差としてみるなど、ほかの数と関係づけてみることもできる。また、数の合成・分解について具体物や図などを用いて考え表現する力を身につける。また、数に親しみ、算数で学んだことのよさや楽しさを感じながら学ぶ態度を養う。【学習指導要領との関連 A(1)ア(エ)】	・1つの数をほかの数の和や差としてみるなど、ほかの数と関係づけてみることもできる。<知・技>	・数量の関係に着目し、ある数を合成・分解した数を考え、それらを具体物や図などを用いて表現している。<思・判・表>	・数に親しみ、算数で学んだことのよさや楽しさを感じながら学ぼうとしている。<態度>
	ぜんぶでいくつ③					
6月	5. ぜんぶでいくつ(9)		○加法の意味(増加、合併)や式について理解し、1位数+1位数で繰り上がりのない加法の計算ができるとともに、具体物や図などを用いて計算のしかたを考える力を身につける。また、加法の計算に親しみ、算数で学んだことのよさや楽しさを感じながら学ぶ態度を養う。【学習指導要領との関連 A(2)ア(イ)(ウ)、A(2)イ(ア)】	・加法の意味(増加、合併)や式について理解し、1位数+1位数で繰り上がりのない加法の計算が確実にできる。<知・技>	・数量の関係に着目し、計算の意味や計算のしかたを考えたり、日常生活に生かしたりしている。<思・判・表>	・数や式に親しみ、算数で学んだことのよさや楽しさを感じながら学ぼうとしている。<態度>
	たしかめもんだい④					
6月	6. のこりはいくつ(7)		○減法の意味(求残、求補)や式について理解し、1位数-1位数で繰り下がりのない減法の計算ができるとともに、具体物や図などを用いて計算のしかたを考える力を身につける。また、減法の計算に親しみ、算数で学んだことのよさや楽しさを感じながら学ぶ態度を養う。【学習指導要領との関連 A(2)ア(イ)(ウ)、A(2)イ(ア)】	・減法の意味(求残、求補)や式について理解し、1位数-1位数で繰り下がりのない減法の計算が確実にできる。<知・技>	・数量の関係に着目し、計算の意味や計算のしかたを考えたり、日常生活に生かしたりしている。<思・判・表>	・数や式に親しみ、算数で学んだことのよさや楽しさを感じながら学ぼうとしている。<態度>
	いったりきたり(1) たしかめもんだい⑤					
7月	7. どれだけおおい(3)		40までの数について、個数の数え方や数の読み方、書き方、数の構成などを理解し、10をひとまとまりにして数の数え方などを考える力及び数の構成に着目して数の計算の仕方などを考える力を養うとともに、数で表すことのよさを感じ、日常生活に活用しようとする態度を養う。	40までの数について、個数の数え方や数の読み方、書き方、数の構成や大小などを理解し、40までの数の数え方や数字を読んだり書いたり、20までの数の構成を加法や減法の式に表すことができる。	10のまとまりに着目し、40までの数の数え方や読み方、書き方を考え、言葉やブロックなどを用いて表現したり、数の構成や既習の計算を活用して、20までの数の繰り上がりや繰り下がりのない加減計算の仕方を考え、言葉やブロックなどで表現したりしている。	数の構成を活用して数の数え方や加減計算の仕方などを考えた過程や結果を振り返り、そのよさや楽しさを感じながら学ぼうとしている。
	さんすうなつやすみ(1) たしかめもんだい⑥					
8月	8. 10よりおおい数(10)		○30程度までの数について理解し、数えたり表したり比べたりすることができるとともに、数の大きさを具体物や図などを用いて考え表現する力、及び繰り上がりのない2位数と1位数の加法、減法の計算のしかたを考える力を身につける。また、数に親しみ、算数で学んだことのよさや楽しさを感じながら学ぶ態度を養う。【学習指導要領との関連 A(1)ア(ウ)(エ)(オ)(カ)、A(1)イ(ア)、A(2)ア(エ)】	・30程度までの数の数え方、よみ方、書き方、数の大きさや順序について理解し、数を数えたり比べたりすることができる。また、繰り上がりのない2位数と1位数の加法、減法の計算ができる。<知・技>	・数のまとまりに着目し、数の大きさの比べ方や数え方を考え、それらを日常生活に生かしている。また、繰り上がりのない2位数と1位数の加法、減法の計算のしかたを考えている。<思・判・表>	・数に親しみ、算数で学んだことのよさや楽しさを感じながら学ぼうとしている。<態度>
	たしかめもんだい⑦					
9月	9. かずをせいりして(2)		○絵や図を用いた数量の表現についての理解の基礎となる経験を重ね、ものの個数について、簡単な絵や図などに表したり、それらをよみ取ったりすることができる。また、データの個数に着目して身のまわりの事象の特徴を捉える力を身につける。また、数量の整理に親しみ、算数で学んだことのよさや楽しさを感じながら学ぶ態度を養う。【学習指導要領との関連 D(1)ア(ア)、D(1)イ(ア)】	・ものの個数について、簡単な絵や図などに表したり、それらをよみ取ったりすることができる。<知・技>	・データの個数に着目し、身のまわりの事象の特徴を捉えている。<思・判・表>	・数量の整理に親しみ、算数で学んだことのよさや楽しさを感じながら学ぼうとしている。<態度>
	10. かたちあそび(4)		○立体図形の理解の基礎となる経験を重ねて感覚を豊かにし、具体物を用いて形を作ったり分解したりすることができる。また、形の特徴を捉えたり、形の構成について考えたりする力を身につける。また、身のまわりにあるものの形に親しみ、算数で学んだことのよさや楽しさを感じながら学ぶ態度を養う。【学習指導要領との関連 B(1)ア(イ)(イ)、B(1)イ(ア)】	・ものの形を認め、形の特徴を知るとともに、具体物を用いて形を作ったり分解したりすることができる。<知・技>	・ものの形に着目し、身のまわりにあるものの形の特徴を捉えたり、具体的な操作をおこなって形の構成について考えたりしている。<思・判・表>	・身のまわりにあるものの形に親しみ、算数で学んだことのよさや楽しさを感じながら学ぼうとしている。<態度>
10月	こういでさんすう(1)					
	11. 3つのかずのたしざん、ひきざん		○3口の数の加法、減法の意味や式について理解し、具体物や図などを用いて計算のしかたを考える力を身につける。また、加法、減法の計算に親しみ、算数で学んだことのよさや楽しさを感じながら学ぶ態度を養う。【学習指導要領との関連 A(1)ア(エ)、A(2)ア(イ)、A(2)イ(ア)】	・3口の加法、減法の意味を理解し、式に表して計算することができる。<知・技>	・数量の関係に着目し、計算の意味や計算のしかたを考えたり、日常生活に生かしたりしている。<思・判・表>	・数や式に親しみ、算数で学んだことのよさや楽しさを感じながら学ぼうとしている。<態度>
10月	たしかめもんだい⑧					
	12. たしざん(8)		○1位数+1位数で繰り上がりのある加法について理解し、計算することができる。また、具体物や図などを用いて計算のしかたを考える力を身につける。また、加法の計算に親しみ、算数で学んだことのよさや楽しさを感じながら学ぶ態度を養う。【学習指導要領との関連 A(2)ア(イ)(ウ)、A(2)イ(ア)】	・1位数+1位数で繰り上がりのある加法の意味や計算のしかたを理解し、加法の計算が確実にできる。<知・技>	・数量の関係に着目し、計算の意味や計算のしかたを考えたり、日常生活に生かしたりしている。<思・判・表>	・数や式に親しみ、算数で学んだことのよさや楽しさを感じながら学ぼうとしている。<態度>
11月	たしかめもんだい⑩					
	13. ひきざん(8)		○量の理解の基礎となる経験を重ねて感覚を豊かにするとともに、長さ、かさ、広さなどの量の大きさの比べ方を考える力を身につける。また、身のまわりにあるものの大きさに親しみ、算数で学んだことのよさや楽しさを感じながら学ぶ態度を養う。【学習指導要領との関連 C(1)ア(イ)(イ)、C(1)イ(ア)】	・長さ、かさ、広さなどの量を、具体的な操作によって直接比べたり、他のものを用いて比べたりすることができる。また、身のまわりにあるものの大きさを単位として、そのいくつかで大きさを比べることができる。<知・技>	・身のまわりのものの特徴に着目し、量の大きさの比べ方を見いだしている。<思・判・表>	・身のまわりにあるものの量に親しみ、算数で学んだことのよさや楽しさを感じながら学ぼうとしている。<態度>
12月	たしかめもんだい⑪					
	14. くらべかた(9)		○量の理解の基礎となる経験を重ねて感覚を豊かにするとともに、長さ、かさ、広さなどの量の大きさの比べ方を考える力を身につける。また、身のまわりにあるものの大きさに親しみ、算数で学んだことのよさや楽しさを感じながら学ぶ態度を養う。【学習指導要領との関連 C(1)ア(イ)(イ)、C(1)イ(ア)】	・長さ、かさ、広さなどの量を、具体的な操作によって直接比べたり、他のものを用いて比べたりすることができる。また、身のまわりにあるものの大きさを単位として、そのいくつかで大きさを比べることができる。<知・技>	・身のまわりのものの特徴に着目し、量の大きさの比べ方を見いだしている。<思・判・表>	・身のまわりにあるものの量に親しみ、算数で学んだことのよさや楽しさを感じながら学ぼうとしている。<態度>
1月	15. おおきなかず(11)		○2位数字までについて、十進位取り記数法による数の表し方の基礎を理解し、120程度までの数を数えたり表したり比べたりすることができる。また、数の大きさを具体物や図などを用いて考え表現する力、及び簡単な場合について2位数などの加法、減法の計算のしかたを考える力を身につける。また、数に親しみ、算数で学んだことのよさや楽しさを感じながら学ぶ態度を養う。【学習指導要領との関連 A(1)ア(ウ)(エ)(オ)(カ)(キ)(ク)、A(1)イ(ア)、A(2)ア(エ)】	・2位数字までについて、十進位取り記数法による数の表し方、数の大小や順序を理解するとともに、120程度までの数を数えたり表したり比べたりすることができる。また、簡単な場合について、2位数などの加法、減法の計算ができる。<知・技>	・数のまとまりに着目し、数の大きさの比べ方や数え方を考え、それらを日常生活に生かしている。また、簡単な場合について、2位数などの加法、減法の計算のしかたを考えている。<思・判・表>	・数に親しみ、算数で学んだことのよさや楽しさを感じながら学ぼうとしている。<態度>
	たしかめもんだい⑫					
2月	16. なんじなんぶん		○時刻についての理解の基礎となる経験を重ね、日常生活の中で「何時何分」のような時刻をよむことができる。また、時刻と日常生活を関連づける力を身につける。また、時刻に親しみ、算数で学んだことのよさや楽しさを感じながら学ぶ態度を養う。【学習指導要領との関連 C(2)ア(ア)、C(2)イ(ア)】	・日常生活の中で時刻をよむことができる。<知・技>	・時刻のよみ方を用いて、時刻と日常生活を関連づけている。<思・判・表>	・時刻に親しみ、算数で学んだことのよさや楽しさを感じながら学ぼうとしている。<態度>
	たしかめもんだい⑬ おなじかずずつにわけよう					
3月	17. どんなしきになるかな		○順序数の加法、減法及び求大、求小の加法、減法の意味や式について理解し、具体物や図などを用いて計算のしかたを考える力を身につける。また、加法、減法の計算に親しみ、算数で学んだことのよさや楽しさを感じながら学ぶ態度を養う。【学習指導要領との関連 A(2)ア(イ)(イ)、A(2)イ(ア)】	・順序数の加法、減法及び求大、求小の加法、減法の意味を理解し、式に表して計算することができる。<知・技>	・数量の関係に着目し、計算の意味や計算のしかたを考えたり、日常生活に生かしたりしている。<思・判・表>	・数や式に親しみ、算数で学んだことのよさや楽しさを感じながら学ぼうとしている。<態度>
	18. かたちづくり(3)		○平面図形の理解の基礎となる経験を重ねて感覚を豊かにし、具体物を用いて形を作ったり分解したりすることができる。また、形の特徴を捉えたり、形の構成について考えたりする力を身につける。また、身のまわりにあるものの形に親しみ、算数で学んだことのよさや楽しさを感じながら学ぶ態度を養う。【学習指導要領との関連 B(1)ア(イ)(イ)、B(1)イ(ア)】	・ものの形を認め、形の特徴を知るとともに、具体物を用いて形を作ったり分解したりすることができる。<知・技>	・ものの形に着目し、身のまわりにあるものの形の特徴を捉えたり、具体的な操作をおこなって形の構成について考えたりしている。<思・判・表>	・身のまわりにあるものの形に親しみ、算数で学んだことのよさや楽しさを感じながら学ぼうとしている。<態度>
	たしかめもんだい⑭ 1年のまとめ					

算数 評価規程 2年		単元名	単元の目標	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
4月	みんなで算数を始めよう(2)	1. 表とグラフ(4)	○簡単な表やグラフについて理解し、データを整理する観点に着目し、身のまわりの事象について表やグラフを用いて考察する力を身に付ける。また、データを整理することを通して、その過程を振り返り、表やグラフの表現のよさに気づき生活や学習に活用しようとする態度を養う。【学習指導要領との関連 D1(ア)7、D1(ア)7】	・身のまわりにある数量を分類整理し、簡単な表やグラフを用いて表したり取り扱うことができる。<知・技>	・データを整理する観点に着目し、身のまわりの事象について表やグラフを用いて考察している。<思・判・表>	・データを整理することを通して、数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき生活や学習に活用しようとしている。<態度>
4月	ふくしゅう①	2. たし算(9)	2位数の加法の筆算の仕方について理解し、筆算の仕方を図式を用いて考える力を養うとともに、計算方法を数学的表現を用いて考えた過程を振り返り、そのよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとする態度を養う。	2位数の加法計算が、1位数などについての基本的な計算を基にしてできることを理解し、その計算が確実にできるとともに、その筆算の仕方について理解している。	数の仕組みに着目し、2位数の加法計算の仕方を、図式などを用いて考え表現している。	2位数の加法の筆算の仕方について、図式などを用いて考えた過程や結果を振り返り、数理的な処理のよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとしている。
5月	3. ひき算(9)	2位数の減法の筆算の仕方について理解し、筆算の仕方を図式を用いて考える力を養うとともに、計算方法を数学的表現を用いて考えた過程を振り返り、そのよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとする態度を養う。	2位数の減法計算が、1位数などについての基本的な計算を基にしてできることを理解し、その計算が確実にできるとともに、その筆算の仕方について理解している。	数の仕組みに着目し、2位数の減法計算の仕方を、図式などを用いて考え表現している。	2位数の減法の筆算の仕方について、図式などを用いて考えた過程や結果を振り返り、数理的な処理のよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとしている。	
5月	4. 長さ(8)	長さの測定などの活動を通して、単位の意味と測定の原理を理解し、単位を用いて的確に表現する力を養うとともに、長さについて感覚を身に付け、今後の生活や学習に活用しようとする態度を養う。	長さについて単位と測定の意味や、単位の関係、物差しを目盛りの仕組みを理解し、およその目安を付け長さの単位を適切に選択して身の回りのものの長さを測定したり、指定された長さの直線をひいたりすることができる。	普通単位の必要性に気づき、身の回りのものの特徴を長さに着目して捉え、目的に応じた単位で長さを的確に表現したり、比べたりしている。	身の回りにあるものの長さに関心をもち、量の感覚を身に付け、数的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとしている。	
6月	5. 100より大きい数(10)	1000までの数についてその意味や表し方を理解し、数の概念について理解を深め、図式を用いて考える力を養うとともに、十進位取り記数法の仕組みを数学的表現を用いて考えた過程を振り返り、そのよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとする態度を養う。	3位数について、数の読み方や表し方、数の構成や大小、順序、数の相対的な大きさを理解し、数を書いたり読んだり、数や数の大小・相等関係を、不等号や等号を用いて表したりすることができる。	10や100のまとまりに着目し、十進位取り記数法の仕組みを考え表現したり、数を相対的な大きさからとらえたりしている。	10や100のまとまりに着目して数を調べた過程や結果を振り返り、数理的な処理のよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとしている。	
6月	たし算とひき算の図(2)	6. たし算とひき算(9)	○右の位に繰り上がる2位数などの加法及びその逆の減法や、百の位への繰り上がり・繰り下りがない3位数の加法及び減法について理解し、計算することができるとともに、図や式などを用いて計算のしかたを考えた過程を振り返り、そのよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとする態度を養う。【学習指導要領との関連 A2(ア)7(イ)7、A2(イ)7、内②(3)】	・2位数+1・2位数=百何十何の加法及びその逆の減法や、百の位への繰り上がりがない3位数+1・2位数、百の位からの繰り下りがない3位数-1・2位数の筆算のしかたを理解し、加法及び減法の計算が確実にできる。また、()の意味や使い方について理解している。<知・技>	・数量の関係に着目し、計算のしかたを考えた計算に関して成り立つ性質を見いだしたりしているとともに、その性質を活用して、計算を工夫したり計算の確かめをしたりしている。<思・判・表>	・加法及び減法の計算に進んで関わり、数的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき生活や学習に活用しようとしている。<態度>
7月	何人いるかな	7. 時・くわと時間(4)	時刻と時間の概念、日、時、分の単位やそれらの関係を理解し、時刻や時間の求め方を考える力を養うとともに、それらを今後の生活や学習に活用しようとする態度を養う。	時刻と時間の区別、及び日、時、分の単位やそれらの関係を理解し、時刻や時間の求めたり、表したりすることができる。	時間の単位に着目し、図などを用いて時刻と時間の求め方を考え、説明している。	時刻や時間に関心をもち、数的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとしている。
7月	筆算をつくろう ふくしゅう②	8. 水のかさ(7)	○かさの単位「L、dl、mL」について知り、測定の意味を理解し、単位を適切に選択してかさの測定する力を身に付ける。また、かさ比べを測定したりすることに進んで関わり、生活や学習に活用しようとする態度を養う。【学習指導要領との関連 C1(ア)7(イ)、C1(イ)7】	・かさの単位「L、dl、mL」について知り、測定の意味と単位の関係を理解し、かさについておおよその目安を付け単位を適切に選択して測定することができる。<知・技>	・身のまわりのものの特徴に着目し、目的に応じた単位でかさの量を的確に表現したり、比べたりしている。<思・判・表>	・かさ比べを測定したりすることに進んで関わり、数的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき生活や学習に活用しようとしている。<態度>
9月	ロボットレース	9. 三角形と四角形	○三角形や四角形、長方形、正方形、直角三角形について理解し、図形を構成する要素に着目して特徴を捉え、構成のしかたを考えた過程を振り返り、そのよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとする態度を養う。【学習指導要領との関連 B1(ア)7(イ)、B1(イ)7、内⑤】	・三角形や四角形、長方形、正方形、直角三角形について理解し、紙を折って構成したり、格子点を使って作図したりすることができる。<知・技>	・三角形や四角形の辺や頂点に着目し、構成のしかたを考えた過程を振り返り、身のまわりのものの特徴を三角形や四角形、長方形、正方形、直角三角形として捉えている。<思・判・表>	・三角形や四角形に進んで関わり、数的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき生活や学習に活用しようとしている。<態度>
9月	タングラム プログラムにちょうせん	10. かけ算(20)	○乗法の意味や式について理解し、計算することができる。また、乗法について考えた過程を振り返り、そのよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとする態度を養う。【学習指導要領との関連 A1(ア)7(エ)、A3(ア)7(イ)7(エ)、A3(イ)7(イ)7(エ)】	・乗法の意味や式について理解し、1位数と1位数との乗法の計算が確実にできる。(5、2、3、4の段)<知・技>	・数量の関係に着目し、計算の意味や計算のしかたを考えた過程を振り返り、計算に関して成り立つ性質を見いだしたりしているとともに、その性質を活用して、計算を工夫したり計算の確かめをしたりしている。<思・判・表>	・乗法の計算に進んで関わり、数的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき生活や学習に活用しようとしている。<態度>
10月	九九であそぼう(2)	11. かけ算九九づくり	○乗法の意味や式について理解し、計算することができる。また、乗法について考えた過程を振り返り、そのよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとする態度を養う。【学習指導要領との関連 A1(ア)7(エ)、A3(ア)7(イ)7(エ)、A3(イ)7(イ)7(エ)】	・乗法の意味や式について理解し、1位数と1位数との乗法の計算が確実にできる。(6、7、8、9、10の段)<知・技>	・数量の関係に着目し、計算の意味や計算のしかたを考えた過程を振り返り、計算に関して成り立つ性質を見いだしたりしているとともに、その性質を活用して、計算を工夫したり計算の確かめをしたりしている。<思・判・表>	・乗法の計算に進んで関わり、数的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき生活や学習に活用しようとしている。<態度>
11月	九九ジグソーパズル	12. 九九をつくらう [かけ算②] (17)	乗法の意味について理解を深め、計算の意味や計算の仕方を含め、乗法に関して成り立つ性質を見いだしたりする力を養うとともに、計算方法を数学的表現を用いて考えた過程を振り返り、そのよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとする態度を養う。	乗法九九について知り、乗法に関して成り立つ性質の理解を確実にするとともに、乗法が用いられる場面を絵や図、言葉、式で表したり、乗法九九(6、7、8、9、10の段)を構成し、確実に覚えたりすることができる。	数量の関係に着目し、乗法について成り立つ性質や乗法九九の構成の仕方を考え工夫し、表現している。	数的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとしている。
12月	12. 長いものの長さ(5)	○長さの単位「m」について知り、単位を適切に選択して長さを測定する力を身に付ける。また、長さ比べを測定したりすることに進んで関わり、生活や学習に活用しようとする態度を養う。【学習指導要領との関連 C1(ア)7(イ)、C1(イ)7(イ)7】	・長さの単位「m」について知り、単位の関係を理解し、長さについておおよその目安を付け単位を適切に選択して測定することができる。<知・技>	・身のまわりのものの特徴に着目し、目的に応じた単位で長さを的確に表現したり、比べたりしている。<思・判・表>	・長さを比べたり測定したりすることに進んで関わり、数的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき生活や学習に活用しようとしている。<態度>	
12月	ふくしゅう③ 数をあらわそう	13. 九九の表(6)	○乗法に関して成り立つ簡単な性質について理解し、それらの性質を見いだしたり、簡単な場合について2位数と1位数との乗法の計算のしかたを考えた過程を振り返り、そのよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとする態度を養う。【学習指導要領との関連 A3(ア)7(イ)7(イ)、A3(イ)7(イ)7(イ)7】	・乗法に関して成り立つ簡単な性質について理解している。また、簡単な場合について2位数と1位数との乗法の計算のしかたを知っている。<知・技>	・数量の関係に着目し、計算に関して成り立つ性質を見いだすとともに、その性質を活用して、計算を工夫したり計算の確かめをしたりしている。<思・判・表>	・乗法に関して成り立つ性質を見いだすことと進んで関わり、数的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき生活や学習に活用しようとしている。<態度>
1月	14. はこの形(5)	○長方形や正方形の面で構成される箱の形について理解し、図形を構成する要素に着目して特徴を捉え、構成のしかたを考えた過程を振り返り、そのよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとする態度を養う。【学習指導要領との関連 B1(ア)7(イ)、B1(イ)7(イ)7】	・長方形や正方形の面で構成される箱の形について理解し、それらを構成したり分解したりすることができる。<知・技>	・図形を構成する要素に着目し、構成のしかたを考えた過程を振り返り、身のまわりのものの特徴を箱の形として捉えている。<思・判・表>	・箱の形に進んで関わり、数的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき生活や学習に活用しようとしている。<態度>	
1月	15. 100より大きい数	○1位数から100までの十進位取り記数法による数の表し方を理解し、大きな数の大きさの比べ方や数え方を考える力、及び百を単位としてみて、何百の加法の計算のしかたを考えた過程を振り返り、そのよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとする態度を養う。【学習指導要領との関連 A1(ア)7(イ)7(イ)7(イ)、A1(イ)7(イ)7(イ)7(イ)7、内①(3)】	・1位数から100までの十進位取り記数法による数の表し方、数の大小や順序、及び数の相対的な大きさについて理解するとともに、簡単な事柄を分類整理し、それらを用いて表すことができる。また、何百の加法の計算ができる。<知・技>	・数のまとまりに着目し、大きな数の大きさの比べ方や数え方を考え、日常生活に生かすことができる。また、百を単位としてみて、何百の加法の計算のしかたを考えた過程を振り返り、そのよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとする態度を養う。【学習指導要領との関連 A1(ア)7(イ)7(イ)7(イ)7、A1(イ)7(イ)7(イ)7(イ)7、内①(3)】	・数を表すことと進んで関わり、数的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき生活や学習に活用しようとしている。<態度>	
2月	数のめいろ ふくしゅう④	16. 図をつかって考えよう	○加法と減法との相互関係について理解するとともに、逆思考の問題場面について、図に表したり、図と式を関連づけて解決のしかたを考えた過程を振り返り、そのよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとする態度を養う。【学習指導要領との関連 A2(ア)7(エ)】	・加法と減法との相互関係について理解するとともに、問題場面を図や式に表すことができる。<知・技>	・逆思考の問題場面について、図に表したり、図と式を関連づけて解決のしかたを考えた過程を振り返り、そのよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとしている。<思・判・表>	・問題場面を図に表すことと進んで関わり、数的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき生活や学習に活用しようとしている。<態度>
3月	17. 1を分けて(6)	○1/2、1/3など簡単な分数について知り、具体物や操作してそれらの大きさを考えることができる。また、その大きさに着目して分数の大きさを捉えたり表したりする力を身に付ける。また、分数に進んで関わり、そのよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとする態度を養う。【学習指導要領との関連 A1(ア)7(イ)7(イ)7(イ)7、A1(イ)7(イ)7(イ)7(イ)7、内①(3)】	・1/2、1/3など簡単な分数について知っている。<知・技>	・もとの大きさに着目して、分数の大きさを捉えたり表現したりしている。<思・判・表>	・分数に進んで関わり、数的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき生活や学習に活用しようとしている。<態度>	
3月	お楽しみ会で算数 算数を使って考えよう 2年のまとめ					

算数 評価規程 3年		単元名	単元の目標	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
4月	みんなで算数を始めよう	算数の学習について、関心や意欲を高め、算数や数学の学習に積極的に取り組む態度を養う。	算数について知り、算数や数学の学習に積極的に取り組む態度を養う。	算数について知り、算数や数学の学習に積極的に取り組む態度を養う。	算数について知り、算数や数学の学習に積極的に取り組む態度を養う。	算数について知り、算数や数学の学習に積極的に取り組む態度を養う。
1	かけ算のまじり	かけ算のまじり	かけ算のまじり	かけ算のまじり	かけ算のまじり	かけ算のまじり
4	ふくしゅう①	ふくしゅう①	ふくしゅう①	ふくしゅう①	ふくしゅう①	ふくしゅう①
2	時と時刻(6)	時と時刻(6)	時と時刻(6)	時と時刻(6)	時と時刻(6)	時と時刻(6)
3	たし算とひき算(13)	たし算とひき算(13)	たし算とひき算(13)	たし算とひき算(13)	たし算とひき算(13)	たし算とひき算(13)
5	わり算(10)	わり算(10)	わり算(10)	わり算(10)	わり算(10)	わり算(10)
1/2	に分けよう	に分けよう	に分けよう	に分けよう	に分けよう	に分けよう
5	長さ(5)	長さ(5)	長さ(5)	長さ(5)	長さ(5)	長さ(5)
6	表とぼうグラフ(9)	表とぼうグラフ(9)	表とぼうグラフ(9)	表とぼうグラフ(9)	表とぼうグラフ(9)	表とぼうグラフ(9)
7	ふくしゅう②	ふくしゅう②	ふくしゅう②	ふくしゅう②	ふくしゅう②	ふくしゅう②
7	あまりのあるわり算(8)	あまりのあるわり算(8)	あまりのあるわり算(8)	あまりのあるわり算(8)	あまりのあるわり算(8)	あまりのあるわり算(8)
7	なみ水道	なみ水道	なみ水道	なみ水道	なみ水道	なみ水道
8	1000より大きい数を調べよう「大きい数のしくみ」(10)	1000より大きい数を調べよう「大きい数のしくみ」(10)	1000より大きい数を調べよう「大きい数のしくみ」(10)	1000より大きい数を調べよう「大きい数のしくみ」(10)	1000より大きい数を調べよう「大きい数のしくみ」(10)	1000より大きい数を調べよう「大きい数のしくみ」(10)
9	円と球(9)	円と球(9)	円と球(9)	円と球(9)	円と球(9)	円と球(9)
9	かけ算とわり算の図	かけ算とわり算の図	かけ算とわり算の図	かけ算とわり算の図	かけ算とわり算の図	かけ算とわり算の図
10	かけ算の筆算(10)	かけ算の筆算(10)	かけ算の筆算(10)	かけ算の筆算(10)	かけ算の筆算(10)	かけ算の筆算(10)
10	重さ(9)	重さ(9)	重さ(9)	重さ(9)	重さ(9)	重さ(9)
11	ふくしゅう③	ふくしゅう③	ふくしゅう③	ふくしゅう③	ふくしゅう③	ふくしゅう③
12	分数(10)	分数(10)	分数(10)	分数(10)	分数(10)	分数(10)
13	三角形(9)	三角形(9)	三角形(9)	三角形(9)	三角形(9)	三角形(9)
14	口を使った式と図(5)	口を使った式と図(5)	口を使った式と図(5)	口を使った式と図(5)	口を使った式と図(5)	口を使った式と図(5)
15	小数(11)	小数(11)	小数(11)	小数(11)	小数(11)	小数(11)
16	2けたの数のかけ算(10)	2けたの数のかけ算(10)	2けたの数のかけ算(10)	2けたの数のかけ算(10)	2けたの数のかけ算(10)	2けたの数のかけ算(10)
17	17.倍の計算(3)	17.倍の計算(3)	17.倍の計算(3)	17.倍の計算(3)	17.倍の計算(3)	17.倍の計算(3)
18	そろばん(2)	そろばん(2)	そろばん(2)	そろばん(2)	そろばん(2)	そろばん(2)
3	算数を使って考えよう(2)	算数を使って考えよう(2)	算数を使って考えよう(2)	算数を使って考えよう(2)	算数を使って考えよう(2)	算数を使って考えよう(2)
3	3年生のふくしゅう(4)	3年生のふくしゅう(4)	3年生のふくしゅう(4)	3年生のふくしゅう(4)	3年生のふくしゅう(4)	3年生のふくしゅう(4)
155						

算数 評価規程 5年		単元名	単元の目標	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
月	学びのとびら					
1	整数と小数		整数及び小数の表し方についての理解を深め、数学的に表現を適切に活用して数の表し方の仕組みを考える力を養うとともに、十進数としての特徴を統合的に捉えようとしたり、そのよさに気づき今後の生活や学習に生かそうとしたりする態度を養う。	整数及び小数について、10倍、100倍、1000倍(1/10、1/100、1/1000)したときに、十進位取り記数法をもとに因数や倍数の位や小数点の移動の法を理解し、それらの大きさの数を求めることができる。	数の表し方に着目し、整数及び小数について十進数として統合的にとらえるとともに、十進位取り記数法をもとに因数や倍数を用いて計算の仕方を考え表現している。	主体的に学習に取り組む態度 数の表し方に着目し、整数及び小数について十進数として統合的にとらえるとともに、十進位取り記数法をもとに因数や倍数を用いて計算の仕方を考え表現している。
4	2.体積		立体の体積について理解し、立体を構成する要素に着目して体積の求め方を考える力を養うとともに、体積の求め方を数学的に表現して考えたい過程を振り返り、多面的に振り返り考えたり、今後の生活や学習に活用しようとしたりする態度を養う。	体積の単位を知り、立方体及び直方体の体積の計算による求め方について理解するとともに、体積を求めることができる。	体積の単位や立体を構成する要素に着目し、立体の体積の求め方について理解するとともに、体積の単位とそれを用いて学習した単位との関係性を統合的に捉え、説明している。	立体の体積の単位や体積の求め方について、数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて振り返り考えたり、数学のよさに気づき学習したことを今後の生活や学習に活用しようとしたりしている。
3	2つの量の変わり方		簡単な場合の比例の関係について理解し、伴って変わる2つの数量やそれらの関係を表す力を用いて考えたい過程を振り返り、そのよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとする態度を養う。	簡単な場合について比例の関係があることを知り、表を用いて比例の関係を見いだすことができる。	伴って変わる2つの数量の関係に着目し、表を用いて比例の関係を捉え、説明している。	簡単な場合の比例の関係について、表を用いて考えた過程や結果を振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて振り返り考えたり、数学のよさに気づき学習したことを今後の生活や学習に活用しようとしたりしている。
5	2000冊を作ろう 復習①					
4	小数のかけ算		乗数が小数の場合の乗法の意味について理解し、その計算の仕方を図や式を用いて考えたい過程を振り返り、そのよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとする態度を養う。	乗数が小数の場合の乗法の意味や、小数の乗法についても整数の場合と同じ関係や法則が成り立つことを理解するとともに、乗数が小数の場合の乗法の計算ができる。	乗法の意味に着目し、乗法の性質を活用して、乗数が小数の場合の乗法の計算の仕方を図や式などを用いて考え表現している。	乗数が小数の場合の乗法の意味を捉え直したり、その計算方法について図や式などを用いて考えた過程や結果を振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて振り返り考えたり、数学のよさに気づき学習したことを今後の生活や学習に活用しようとしたりしている。
	復習②					
6	5.合同と三角形と四角形		図形の合同の意味や合同な図形の性質などについて理解し、図形を構成する要素や図形間の関係に着目して図形の性質について考える力を養うとともに、図形を合同という観点で考察した過程を振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて振り返り考えたり、今後の生活や学習に活用しようとしたりする態度を養う。	除数が小数の場合の除法の意味について理解するとともに、除数が小数の場合の除法の計算ができる。	除法の意味に着目し、除法の性質を活用して、除数が小数の場合の除法の計算の仕方を図や式などを用いて考え表現している。	除数が小数の場合の除法の意味を捉え直したり、その計算方法について図や式などを用いて考えた過程や結果を振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて振り返り考えたり、数学のよさに気づき学習したことを今後の生活や学習に活用しようとしたりしている。
7	6.小数のわり算		○除数が小数である場合の除法の意味について理解し、計算することができるように、図や式などを用いて計算のしかたを考えた過程を振り返り、そのよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとする態度を養う。	○除数が小数である場合の除法の意味や、あまりの大きさについて理解し、小数の除法の計算ができる。また、小数の除法についても整数の場合と同じ関係や法則が成り立つことを理解している。	○除法の意味に着目し、除数が小数である場合でも数の範囲を広げて除法の意味を捉え直したり、それらの計算のしかたを考えた過程を振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて振り返り考えたり、それを日常生活に生かしたりしている。	○小数の除法について、数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて振り返り考えたり、数学のよさに気づき学習したことを今後の生活や学習に活用しようとしたりしている。
7	○石の数え方 復習③					
9	7.整数の見方		偶数、奇数及び倍数、約数などについて知り、整数の性質についての理解を深め、観点を決めて整数を類別したり数の構成について考えたい過程を振り返り、そのよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとする態度を養う。	偶数、奇数、及び倍数、約数について知り、それらの意味について理解するとともに、偶数と奇数を類別したり倍数と約数を求めたりすることができる。	乗法及び除法に着目し、整数を偶数と奇数の二つの集合に類別して捉えたり、倍数と約数の集合を捉えたりするとともに、整数の性質を図や式などを用いて考え表現している。	整数の性質について、観点を決めて類別したり、倍数と約数の集合を捉えたりした過程や結果を振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて振り返り考えたり、数学のよさに気づき学習したことを今後の生活や学習に活用しようとしたりしている。
8	8.分数の大きさとし算、ひき算		分数の性質や異分母の分数の加法及び減法の意味について理解し、通分、約分の仕方を図や式を用いて考えたい過程を振り返り、そのよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとする態度を養う。	分数の性質や通分、約分の意味、異分母の分数の加法及び減法の意味について理解するとともに、通分や約分、異分母の分数の加減計算の仕方を図や式などを用いて考え表現している。	単位数に着目して、分数の相当及び大小関係や、異分母の分数の加減計算の仕方を図や式などを用いて考え表現している。	通分や約分の意味や、異分母の分数の加法及び減法の計算の仕方を図や式などを用いて考え表現している。また、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて振り返り考えたり、学習したことを今後の生活や学習に活用しようとしたりしている。
10	9.平均 奇数と偶数を合わせて		平均の意味について理解し、測定した結果を平均する方法について図や式を用いて考えたい過程を振り返り、そのよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとする態度を養う。	平均の意味について理解するとともに、測定した結果の平均を求めることができる。	概括的に捉えることに着目して、測定した結果を平均する方法を図や式などを用いて考え表現している。	平均の意味や、測定した結果を平均する方法を、図や式などを用いて考えた過程や結果を振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて振り返り考えたり、数学のよさに気づき学習したことを今後の生活や学習に活用しようとしたりしている。
10	10.単位量あたりの大きさ		異種の2量の割合としてとらえられる数量について、速さや単位量あたりの大きさの意味及び表し方について理解し、単位量あたりの大きさを計算したい過程を振り返り、そのよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとする態度を養う。	異種の2量の割合としてとらえられる数量について、速さや単位量あたりの大きさの意味及び表し方について理解し、速さや単位量あたりの大きさを求めたり、比べたりすることができる。	異種の2量の割合としてとらえられる数量の関係に着目し、目的に応じて大きさを比べたい過程を振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて振り返り考えたり、数学のよさに気づき学習したことを今後の生活や学習に活用しようとしたりしている。	速さや単位量あたりの大きさの意味及び表し方などを、図や式などを用いて考えた過程や結果を振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて振り返り考えたり、数学のよさに気づき学習したことを今後の生活や学習に活用しようとしたりしている。
11	11.わり算と分数		○整数の除法の結果を分数で表すことを理解し、整数や小数を分数の形に直したり、分数を小数で表したりすることができるように、分数と整数、小数の関係を考えたい過程を振り返り、そのよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとする態度を養う。 【学習指導要領との関連 A(4)ア(イ)、A(4)イ(イ)】	○整数の除法の結果は、分数を用いると常に1つの数として表すことができることを理解し、整数や小数を分数の形に直したり、分数を小数で表したりすることができる。	○分数と整数、小数の関係を考えたり、分数の表現に着目して分数の意味をまとめることができる。	○分数について、数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて振り返り考えたり、数学のよさに気づき学習したことを今後の生活や学習に活用しようとしたりしている。
11	九九の表を調べよう 復習④					
12	12.割合		2つの数量の関係について、割合で比べる場合があることと、その表し方について百分率を理解し、割合を用いた比べ方や百分率の表し方について図や式を用いて考えたい過程を振り返り、そのよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとしたりする態度を養う。	2つの数量の関係について、割合を用いた比べ方や百分率の表し方などを用いて考えたい過程を振り返り、そのよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとしたりする態度を養う。	2つの数量の関係に着目し、倍の意味を基に、割合を用いた比べ方や表し方を図や式などを用いて考え表現している。	2つの数量の関係を比べ方や表し方などを、図や式などを用いて考えた過程や結果を振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて振り返り考えたり、数学のよさに気づき学習したことを今後の生活や学習に活用しようとしたりしている。
12	13.割合とグラフ		円グラフや帯グラフの特徴とそれらの用い方や、統計的な問題解決の方法について理解し、目的に応じてデータの収集や適切な手法の選択などを行い、データの傾向に着目し、問題を解決するために適切なグラフを選択して判断し、その結論について多面的に捉え考察する力を養うとともに、統計的な問題解決の方法について数学的に表現して考えたい過程を振り返り、そのよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとしたりする態度を養う。	円グラフや帯グラフの特徴とそれらの用い方や、データの収集や適切な手法の選択などを行い、データの傾向に着目し、問題を解決するために適切なグラフを選択して判断し、その結論について多面的に捉え考察することができる。	目的に応じてデータを収集して整理し、データの傾向に着目し、問題を解決するために適切なグラフを選択して判断し、その結論について多面的に捉え考察している。	統計的な問題解決の方法について、数学的に表現・処理した過程や結果を振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて振り返り考えたり、数学のよさに気づき学習したことを今後の生活や学習に活用しようとしたりしている。
	復習⑤					
1	14.四角形と三角形の面積		○四角形や三角形の面積の計算による求め方を理解するとともに、その方法を図や式などを用いて考えたい過程を振り返り、そのよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとしたりする態度を養う。	○平行四辺形、三角形、台形、ひし形の面積の計算による求め方について理解し、それらの面積を公式を用いて求めることができる。	○図形を構成する要素などに着目して、基本図形の面積の求め方を見いだしているとともに、その表現を振り返り、簡潔かつ的確な表現に高め、公式として導いている。	○四角形や三角形の面積について、数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて振り返り考えたり、数学のよさに気づき学習したことを今後の生活や学習に活用しようとしたりしている。
2	15.正多角形と円		正多角形の性質や円周率の意味について理解し、図形を構成する要素や図形間の関係に着目して、構成の仕方を考えたい過程を振り返り、そのよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとする態度を養う。	正多角形の性質や円周率の意味を理解し、円を構成する要素や図形間の関係に着目して、構成の仕方を考えたい過程を振り返り、そのよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとする態度を養う。	図形を構成する要素や図形間の関係に着目し、正多角形の性質を見いだしたり、円を構成する要素や図形間の関係に着目して、構成の仕方を考えたい過程を振り返り、そのよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとする態度を養う。	円と関連させて正多角形の性質やかき方を考えたり、円周率について理解し、円を構成する要素や図形間の関係に着目して、構成の仕方を考えたい過程を振り返り、そのよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとしたりしている。
	復習⑥					
3	16.角柱と円柱		角柱、円柱の意味や性質について理解し、図形を構成する要素に着目して図形の性質を見いだしたり図形の展開図のかき方について考えたい過程を振り返り、そのよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとしたりする態度を養う。	角柱、円柱の意味や性質について理解し、図形を構成する要素に着目して図形の性質を見いだしたり図形の展開図のかき方について考えたい過程を振り返り、そのよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとしたりする態度を養う。	図形を構成する要素に着目し、角柱、円柱の構成要素やそれらの位置関係の性質を見いだしたり、その性質を基に既習の図形を捉え直し、説明している。	既習の図形を角柱として捉え直したり、角柱、円柱の性質を考察したりした過程や結果を振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて振り返り考えたり、数学のよさに気づき学習したことを今後の生活や学習に活用しようとしたりしている。
3	算数を使って考えよう 5年のまとめ ステップアップ算数 広がる算数					

